【ウィルスセキュリティ ZERO がインストールされた環境での『テクノス V2』起動不具合の対処例】

最近、ウィルスセキュリティ ZERO がインストールされた PC 環境において『テクノス V2』が正常に起動、動作しなくなったという報告が寄せられています。

当社にて検証した結果、報告いただいたエラーを確認することはできましたが改めて再現することはできませんでした。何らかの条件が合致した場合に発生する現象だと思われます。

ただ、不具合は放置しておけないため、対症療法(原因が不明であるため、的確ではないかもしれませんが不 具合が解消された実績がある方法)をご紹介します。

本件に該当する方は、次の手順をお試しください。よろしくお願いします。

(1) ウィルスセキュリティ ZERO の制御画面



デスクトップのショートカット等により、ウィルスセキュリティ ZERO の制御画面を表示する。

	アップデート エントリー情報 ? - と
 ホーム 製品の状態は以下の通りです ウイルス対策 ● ウイルス対策 ● 不正侵入対策 ● 迷惑メール対策 ● 個人情報保護 ● web防御 □ 設定 	 ご使用中製品の対応OS Windows 8 まで 現在ご利用頂けるサービス マイページ サポート 追加購入/ライセンス追加
バックアップ シュレッダー 高速化 有効にする(詳細) 有効にする(詳細)	B 通 USBワクチン 他のツール
前回アップデート実行日 : 1 時間前 プログラムバージョン : 12.2.0181 ワクチンバージョン : 9.88.2165	K

(2) 設定画面の表示

上部の 設定 をクリックして設定画面を表示する。

SOURCENEXTSTYLE SOURCENEXTSTYLE SOURCENEXTSTYLE DYNAUTOLICAL STATEMENT SOURCENEXTSTYLE SOURCENEXTSTYLE SOURCENEXTS	履歴 アップデート	エントリー情報	? - X
▶ 設定			
ヴイルス・スパイウェア対 策 設定 隔離 (3)	ウイルス自動検知 メール自動検査 ふるまい検知 文書ファイル システム防御 ウイルスサイトからの保護	有効 無効 有効 無効	
萨 不正侵入対策 設定	アブリケーション 例外の設定 侵入検知(IDS)	有効 無効 有効 無効 有効 無効	·
前回アップデート実行日 : 1 時間前 プログラムバージョン : 12.2.0181 ワクチンバージョン : 9.88.2165			Соменные

(3) ウィルス・スパイウェア設定、設定画面の表示

上図の 設定 をクリックして、ウィルス・スパイウェア設定、設定画面の表示する。

(4)検索したくないファイル、フォルダの指定画面の表示

● ウイルス・スパイウェア対策	? 🗙
ウイルス自動検知 メール自動検査 その他の検査 システム防御 手動検査 デバイス制御 脆弱性の保護 全般	
ウルス食物物です。そびです。 ためたるでかっているつかり、 ため変やしているつかり、 ため変やしているつかす。 をすめているつかす。 ● 全フ・ハ (4) ● 含フ・ハ (4) ● 約認識 (4) ● スパイウェア、アドウェア、リスクウェアの検査 <u>1-サー設定はこちら</u> (3-5)・ワーク上のファイル ● オットワーク上のファイル ● 自動駆除。駆除できない場合は削除 ● 約駆除。駆除できない場合は削除	
適用	じる

検索したくないファイル、フォルダを指定する をクリックする。

(5)検索したくないファイル、フォルダの追加

	👴 ウイルスセキュリティ	? 🗙
 影 ま	誤って検知された場合や、検査の高速化のために、検査しないファイルやフ ます。	ォルダを追加することができ
	☆査除外リスト	
	(5)	
\langle	⑦ ファイルやフォルダを追加 業 削除 2キャン画面から除外した Ok	主設定の初期化 キャンセル

フォルダやファイルの追加をクリックする。

(6)フォルダおよび条件の設定



- 1. **ロウィルス自動検知の対象にしない** をクリックする。
- 2. **ロサブフォルダも含む** もクリックする。
- 3. 最後に フォルダを追加する をクリックする。

(7) 『テクノス V2』フォルダの指定



1. 『テクノス V2』をインストールしたフォルダを指定する。 インストール時にドライブを変更していなければ、初期設定は

C: \rightarrow **TechnosV2**

2.ドライブを指定したら「**OK**」ボタンをクリックする。

(8) 設定の確認と決定

🗧 ウイルスセキュリティ	? 🗙
検査対象からはずしたいファイルやフォルダを下のアイコン・ のしかたを下のチェックボックスから選びます。	をクリックして指定した後、検査
C;¥TechnosV2	
✓ ウイルス自動検知の対象にしない □ 手動検査の対象にしない	
サブフォルダも含む	(8)
Ok	キャンセル
l	

設定内容を確認し、「 **OK** 」ボタンをクリックする。 (これで設定は終了、あとは設定画面を順次閉じる。)

🔵 ウイルスセキュリティ			? 🗙
誤って検知された場合や、検査の高速化の ます。)ために、検査	しないファイルやフォルダを追加す	ることができ
検査除外リストー			
ファイルやフォルダ		אלאב	
G¥TechnosV2		ウイルス自動検知から除外	
			•
ヘコマイル約コナルガな追加 いた 間線	745	、両面やに除み」を恐定の知期化	
	<u>~~r</u>		-
	(9)	0k +7	ンセル

内容を確認し、「 OK 」ボタンをクリックする。

(10)終了処理

• ウイルス・スパー	イウェア対策	? 🗙
ウイルス自動検知 メール	レ自動検査 その他の検査 システム防御 手動検査 デバイス制御 脆弱性の保護 全般	
ウイルス自動検知は、ア クセスを行なうたびに自動 で検査します。そしてウイ ルスに感染しているファイ ルを駆除、または隔離し ます。詳細はヘルプをご 覧ください。	・ 全ファイル 快速したくないファイル、フォルダを指定する ・ 自動認識 ・ 日前定のファイル拡張子 ・ スパイウェア、アドウェア、リスクウェアの検査 ユーザー設定はこちら ・ スットワーク上のファイル クリルス検知時の処理 ● 自動駆除。駆除できない場合は削除 ・ アクセスを拒否 【1 (1))
1	適用	閉じる

「閉じる」ボタンで終了すると(3)の画面に戻るのでその画面も閉じる。